

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年 9月 15日

東京大学での所属学部・研究科等:	工学系研究科	学年(プログラム開始時):	修士2
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ETH Zurich
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 民間企業(業界:建築設計)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

スイスにある工学系の単科大学。ドイツ語圏のチューリッヒ校、フランス語圏のローザンヌ校、及び4つの国立研究機関で構成される。ETH Zurichはアインシュタインの出身校としても知られ、21名のノーベル賞受賞者を輩出している。建築学科(DARCH)もまた、1855年に設立されて以来、数多くの著名な研究者・建築家を輩出している。

留学した動機

1. 日本建築のアイデンティティを明白にするために西洋建築を学ぶ。2. 公共空間の建築意匠の分野をさらに深く掘り下げて学ぶ。3. プラクティカル(実務的)な設計手法を新しく学ぶ。という建築設計における目的に加え、海外経験は様々な点で自分の視野を広げてくれると考えたから。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	修士2	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	9月~	2018年	8月	
	修士2	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2018年	修士2	年生の	冬	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2018年	修士2	年生の	9月頃に	行った
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		32	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		0	単位	
	留学後の取得(予定)単位		0	単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2016年	4月入学	2019年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	3年		ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

元々留学はぼんやり考えていましたが、具体的な留学のリサーチは学部卒業後に開始しました。そこで、修士で1年強、研究・設計をして、自分の興味・関心を明確化させ、ある程度力をつけた上で、留学での目標を見定めてから留学したいと考えて、留学時期を決めました。

留学準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

基本的に大学からのメール通りに動けば大丈夫ですが、1.TOEFL受験(全学締切前、余裕を持って受験。)2.奨学金の応募(官民協働海外留学支援制度～ビタテ！JAPAN日本代表プログラム～を利用しました)3.寮への応募(6月ごろ。大学からのメールに従って手続きします。希望(キャンパスの近くetc)をフリースペースに入力すると聞いてもらえることもあるようです。)4.(建築のみ)設計スタジオの抽選(留学直前の8月ごろ。)は特に大切です。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

入国前には不要です。入国後、滞在許可を現地で申請します。
学生ビザの元、インターンをする場合、給与や労働時間の条件などで労働許可が下りるのが難しいこともあるので、インターンをする場合のみ、余裕を持ってしっかりリサーチしてから申請する必要があります。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

健康診断をして、常備薬を多めにもらって、破傷風の予防接種を打ってから渡航しました。スイスは先進国なので、特に予防接種は必要はないと思いますが、打つにこしたことはないと思います。渡航直前すぎると打てないこともあるので、早めのリサーチが必要です。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大で加入を義務付けられる付帯海外に加入しました。保険はそれでカバーされますが、スイスの保険の加入も強制されます。私は、ETHのサイトに乗っ取って、スイスの保険を免除することができました。そのためには、FormAという書類に日本の保険会社からのサインが必要です。健康保険の種類によってどこにサインを貰うか異なるので(国民健康保険で免除できたケースもあるようです)、事前に確認してサインを貰っていくと、手続きがスムーズだと思います。手続きはかなり面倒で、手続きしても免除されないこともあります。かなりのお金を節約できるので、チャレンジしたほうが良いと思います。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

特にはありません。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

TOEFL受験(B2-C1レベル)。研究室のプロジェクトで英語を使っていたことに加え、DMM英会話などのスカイプ英会話で日頃から英語を話すようにしていました。ドイツ語は、自習に加え、ETHでインテンシブコース(A1レベル)を受講しましたが、英語で生活してしまったため、あまり身につけませんでした。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

生活面では、寮にもよるとは思いますが、洗濯・乾燥場所は共同なところが多いので、洗濯ネットと、下着など自分の部屋で干すための洗濯ピンチは便利でした。勉強面では、シラバスではドイツ語と書いてあっても、英語で大丈夫な授業もあつたりするので、気になる事があつたら、メールで質問してみるのが良いと思います。ほとんどの場合、返信してくれます。履修したいものをあらかじめ考えておくことで履修登録に手間取りません。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Architectural Design III	14		Entwurf V-IX	14	
ACTION! On the Real City	2		Modell und Gestaltung	3	
Architekturzeichnen	2		3D Scanning und Freeform Modeling	2	
Seminarwoche Herbstsemester	2		Seminarwoche Frühjahrssemester	2	
			Bildlabor	2	

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

設計スタジオを中心に授業をとっていました。火・水曜はスタジオのエスキスや発表に丸一日使い、夜遅くまで大学に残ることも多々ありました。その他、実習型の授業を週2、3個ほどとっていました。前期は都市スケールのプロジェクトをするTom Emersonスタジオを、後期は住宅を作るRafael Zuberスタジオをとっていました。他に、街の映画を作る授業や、3D scannerと3D printerを使って自由にオブジェクトを作る授業、ひたすら模型を作る授業などが印象に残っています。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

前期は設計スタジオの他に3つの授業を取り、20単位取得しました。設計スタジオの作業にほとんどの時間を費やし、土日あまり休まず作業していました。隙間時間にはDrawingの授業の課題で絵を描いたり、映画作成の授業の動画を編集する程度でした。後期は設計スタジオと4つの授業で、23単位取得しました。前期と比べると、設計スタジオ以外の授業にもかなりの時間を割くことが出来ました。

④学習・研究面でのアドバイス

興味を持ったら何事にもとりあえず挑戦してみることに、疑問点があったら恥ずかしながら聞くことが大切です。また、積極性を持つことが必要だと感じました。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

英語の授業が多だけでなく、日常生活も英語だけで生活出来てしまうので、ドイツ語力は伸びませんでした。シラバスではドイツ語の授業でも、受講者数が少数だと英語に変えてくれたこともありました。しかし、ドイツ語ができる方が選択できる授業は増えますし、敷地や書籍でのリサーチももっと深く出来たと思うので、もう少しきちんと勉強したかったと反省しています。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

ETHからのメールに従って、WOKOを通して探しました。私のCaesar-Ritz-Strasseという寮は、チューリヒ都心部からは少し距離がありましたが、建築学科もあるhönggerbergキャンパスからは近く、牧歌的で気持ち良い場所がありました。また、私は15人とキッチンやシャワーをシェアしていたので、メンバーによっては綺麗に保つのが大変なときもありましたが、友達も増えました。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

海外手数料が少なかったためEAON銀行の口座を作りました。デビットカード利用したり、現地のATMで下ろしたり(デビットカードでPLUSのマークのATMでお金を引き出せます)していました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安は良かったです。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

トビタテの月16万があれば、寮の家賃(約7万)を含め無理なく生活出来ますが、旅行に行ったり本や模型材料を買うと足りないこともしばしばありました。

・留学に要した費用総額とその内訳

12ヶ月で、250万強。生活費や家賃以外に加え、航空券代:15万、保険代:10万、交通費:10万強、住民登録:2万円、携帯電話通信費:6万、その他(旅行代、研修代、書籍代、模型材料代、娯楽etc)等に利用しました。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！JAPAN日本代表プログラム～で月16万＋留学準備金25万円を受給していました。7期に応募しました。留学期間を10ヶ月から12ヶ月に延長しましたが(ETHは12ヶ月在籍できることを確認せず、10ヶ月で授業が終わってしまうと間違えてしまったため)、延長月の分の受給は出来ないの注意が必要です。期間が確定していない場合、申請は長めにする方が良いと思います。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

近所の湖の周りでジョギングをしたり、ハイキングに行ったりしていました。市内の湖や川で泳ぐこともできます。学校のジムは私は行きませんでした。設備は整っていて、ヨガなども無料で受けられるようです。休暇では旅行をしたり、友達と遊んだりしました。Polyballというball(パーティー)に参加もしました。インターンは夏季休暇中に行いました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

交換留学生のための窓口があります。質問には迅速に丁寧に対応してくれたので、とても助かりました。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

設備は整っています。特に、建築学科は、プロッターやレーザーカッター、ウッドカッターなどの模型製作用の設備も豊富です。また、建築設計で利用するソフトウェアの搭載された高スペックPCが何台もあるPCルームは沢山利用しました。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

メリットは、自分の興味や、進路への考え方を、留学前とは違った視点で再確認することが出来ました。また、ポートフォリオの内容の幅も広がりました。デメリットは、大抵の日系の民間会社の就職活動期間と留学期間がかぶるので、日系企業の就職を考えている場合は、受けられる企業が限られることだと思います。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

ある程度進路が決まっていたとしても、情報収集は積極的にするべきだと思います。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 研究職 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| <input type="checkbox"/> | 3. 公的機関(機関名:) |
| <input type="checkbox"/> | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. 民間企業(企業名又は業界: 建築設計) |
| <input type="checkbox"/> | 6. 起業(分野:) |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他() |

留学を振り返って

① 留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

ETHに来て良かったと思うことはたくさんありますが、特に以下の三点が良かったと思います。

1. 良い先生の前、レベルの高い学生に囲まれてて手厚い授業を受けられる。
2. 建築面でも生活面でも、多様な考え方に触れることができ、視野が広がる。
3. いろんな意味で(建築面でも生活面でも)タフになった。

② 留学後の予定

研究室のプロジェクトと、修士論文。

③ 今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

迷っているなら留学するべきだと思います!!! 大変なこともあります、大抵なんとかなります! 掴めるチャンスは掴みましょう!

その他

① 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

[ETHのcourseカタログ](#)

<http://www.vvz.ethz.ch/Vorlesungsverzeichnis/sucheLehrangebotPre.view?lang=en>

② その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。